

あなたの真下をリニアが通るー県・市の公聴会開催 公述人全員「準備書の出し直しと計画の再検討」を要求

「リニア新幹線に係る公聴会」が、県主催では1月12日（宮前）と13日（相模原）、川崎市主催では18日（麻生）と19日（宮前）、合わせて4回開催され、のべ41人の公述人全員が安全対策や環境対策の不備を指摘し、準備書の出し直しと計画の再検討を要求しました。

川崎市主催の公聴会では、2回（公述人は麻生10人、宮前6人）とも、市の条例に基づき、JR 東海から推進本部の担当部長や関係者9人が出席し、各人3回に及び公述人との質疑応答を行いました。具体的な資料や根拠を示して公述する住民側に対して、JR 東海は2年前とほとんど変わらない抽象的な答弁に終始し、公述人だけでなく、公聴会を見守った多くの傍聴者の、リニア計画に対する疑問や不安を解消することはできませんでした。

この公聴会の公述記録は、後日、県や市のホームページに掲載されます。リニアの会のホームページでも閲覧可能ですのでご覧下さい。<http://web-asao.jp/hp/linear>

田園 14 版 2014年(平成26年)1月19日(日曜日) 書寫 宣

リニア工事環境悪化懸念

麻生で公聴会 公述人「凍結、再検討を」

川崎市は18日、リニア中央新幹線の騒音、振動の調査結果などを示した「環境影響評価準備書」に対する公聴会を麻生区役所で開いた。

公述人として出席した市民ら10人は、工事による環境悪化などへの懸念を述べ、計画凍結や再検討を求めた。公聴会は19日も宮前区役所で開かれる。

リニアは県内ほぼ全区間でトンネルを通り、川崎市内の工事では約400万立方メートルの残土が市内5か所の立て坑（非常口）のうち、数か所から排出される。麻生区の小西邦弘さん（70）は「幹線道路沿いには

「環境影響評価を再度 浩さん(76)は「残土運搬の

トラックが狭い通学路を11年間も行き交う」と述べ、周辺道路の使用に反対した。

一方、事業者のJR東海は「大気汚染の環境基準への適合を第一に取り組み。工事車両ルートの分散化も検討する」などと説明した。

1月19日付読売新聞

正念場を迎えたリニア新幹線問題

9兆円以上という巨額の建設費、新幹線の3~4倍もの膨大な電力を浪費するリニア新幹線問題はいよいよ正念場を迎えた。麻生区ではヨネッテイ王禅寺前の旧日本合成ゴム跡地に巨大な立坑とそこから片平方面の立坑まで地下40m以深にトンネルが掘られます。

この地域には保育園、こども文化センター、学校、老人ホームなどの施設も多い。11年間に渡ってトンネル工事が続き土砂搬出のダンプカーで騒音、振動、粉塵、排ガスによる気管支ぜんそくと交通事故の危険にさらされます。生活環境の激変を余儀なくされるのに、11年間も我慢しなければならないのでしょうか？

一町会上げて署名運動へー

当該地域のある町会（自治会）では「リニア計画の凍結・再検証を求める意見」を市長、市議会の名でJR東海に対し提出してほしい旨の署名活動を開始。他の町会や町会連合会も一緒に取り組んでほしいと訴えています。

現在、県と川崎市の環境影響評価審議会が開かれており2月末には知事、市長に答申が提出される見通しで、これに基づいて知事、市長意見がJRに出される重要な段階を迎えています。

JR 東海への県知事・市長意見の基となるアセス審議会を傍聴しましょう

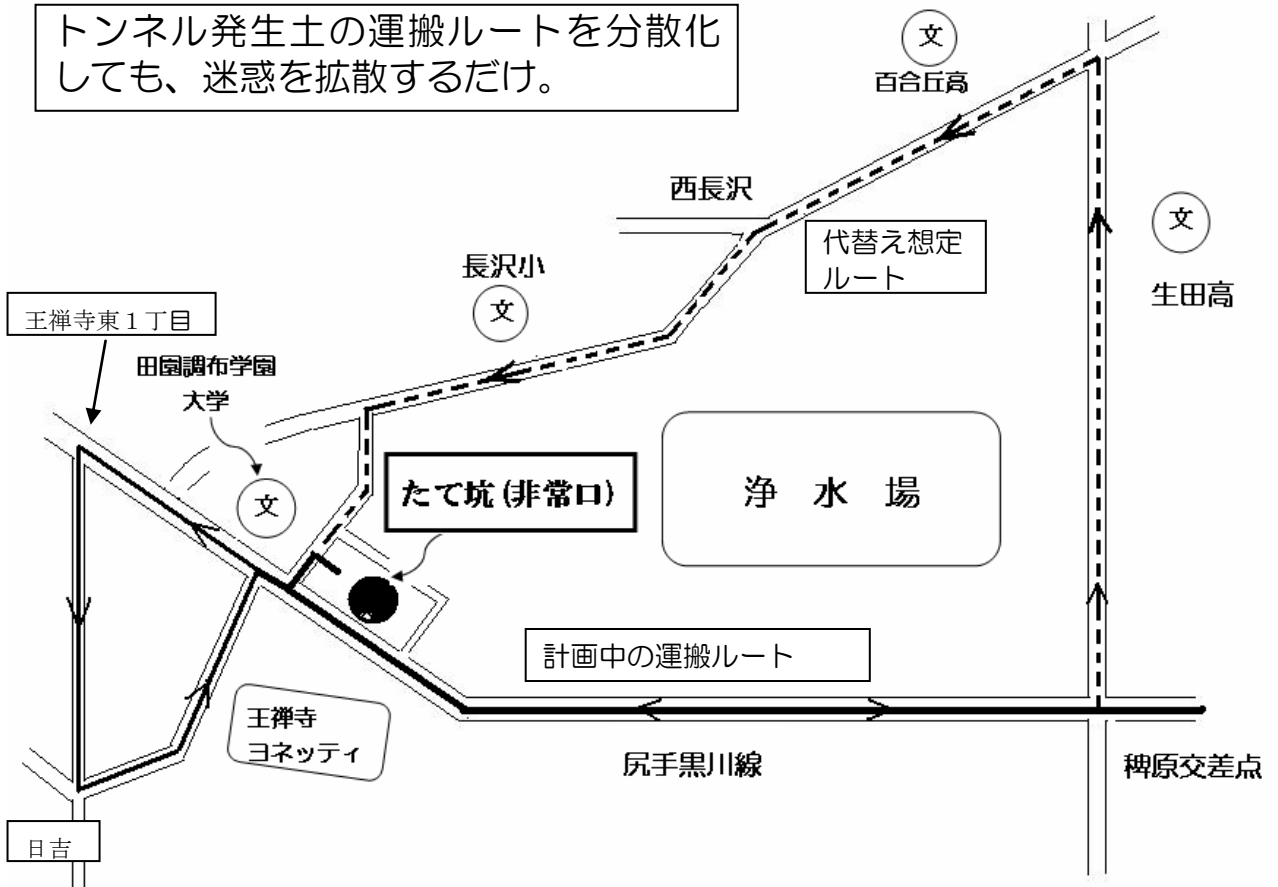
2月5日(水)神奈川県環境影響評価審査会(16:30~) 産業貿易会館(横浜・中区)

2月7日(金)川崎市環境影響評価審議会(18:00~) 市役所第4庁舎(旧砂子会館)

アセス審議会は次回もあります。県または市のホームページをご注意ください。

麻生・多摩の会への問い合わせは；yazawa57747@yahoo.co.jpまたは090-6108-6568 へ

リニア新幹線のために生活を犠牲にするのはごめんだ！



リニア新幹線が尻手黒川線に沿って計画されています。東百合ヶ丘三丁目の「たて坑（非常口）」から地下 40m の深さでトンネルを掘ります。出てきた土は、梶ヶ谷方面にダンプカーで運搬します。現在までのところ JR 東海が提案している運搬路は実線で示す経路です。しかし、市民から出された「交通渋滞が生じて沿線の空気の汚染がひどくなる」ことに対する、JR 東海の見解として「できる限り現況交通への負荷を低減するため、工事に使用する道路の分散化をはかる」と回答しています（中央新幹線（東京・名古屋間）環境影響準備書に係る法対象条例見解書【川崎市】の 13 ページ）。

東百合ヶ丘三丁目のたて坑の場合、現行ルートでは尻手黒川道路からたて坑へは信号がないので直接右折してはいることができません。そのため王禅寺東 1 丁目の信号を左折し、日吉の信号まで下り、そこを左折してヨネッティ前の信号を右折してすぐに左折するという経路を考えています。この経路は王禅寺のゴミ処理場の前を通るのでゴミ回収車と競合して交通渋滞が起こることは目に見えています。このため、王禅寺東 1 丁目地域の住民から反対の声があがっています。また、道路の分散化をはかるためとして、仮に稗原交差点から右折して百合丘高校や長沢小学校方面に大きく迂回して運搬ルートを変更した場合も、単に住民への迷惑を拡散するだけで問題の解決にはなりません。

**1 分間に 1 台の 10 トンダンプカーが通ります。工事期間が 11 年間。
そんなに長い間我慢を強いられる必要があるのでしょうか？
川崎に住む私たちには何のメリットもありません。**

2.26 政府交渉と院内集会「南アルプスとリニア中央新幹線」

日時：2月26日（水）13:30~16:00

会場：参議院議員会館 B109 会議室

講師：佐藤博明さん（静岡大学名誉教授）

主催：リニア新幹線沿線住民ネットワーク他

当日は国交省や環境省との交渉も計画しています